



日々輝通信

No.3 令和3年6月15日発行

日々輝学園高等学校東京校 HIBIKI GAKUEN HIGH SCHOOL

コロナ禍での実践 着実に



新しいことに自らの意思で挑戦する生徒総会

小中学校では、「GIGAスクール元年」とも呼ばれる令和3年度がスタートして2か月余りとなりました。本校では、5月からオンライン授業日を隔週の水曜日に実施しています。午前中の授業には私も参加し、生徒と共に学ぶ機会を楽しみにしています。

さて、生徒は、様々な教科学習や活動を通して知識や技能を蓄えていきますが、コロナ禍の現在、習得した知識技能を活用する場が不足していると思うのです。学校では、様々な体験学習を計画しています。ここで言う「体験」とは、頭だけでこうすればいい、ああすればいいと考えるのではなく、五感を使って、様々な感じ、考え、実際に試してみることを体験と考えます。そして私は、一つの活動を体験として終わらせるのではなく、生徒が主体的に自分の心の内面に「経験」という苗を植え付けられるようにできたらと思うのです。

ジョン・デューイ（1859～1952）というアメリカの学者は、伝統的な講義形式の授業、つまり、学習者の活動が受け身の、学習内容は記憶中心、学習内容と社会との接点が見いだしにくいという教育の方法に疑問を持ち、学習者の「能動的な活動」、「経験」の大切さを主張しました。彼の言葉として「Learning by Doing」（為すことによって学ぶ）という言葉が有名ですが、「何かをする」ということではなく、何かをした「その行為」と「その結果」との関係を見いだすことを重視しているのです。

学校で学んだことを、失敗しても良いから、主体的に何かに挑戦してみることは、他者に話をするとき、きっと相手も納得するのではないのでしょうか。コロナ禍だからと何もせずにいるのではなく、何かできることに挑戦する生徒であってほしいです。 学校長

祝全国大会出場 準優勝サッカー部



表彰式後に記念写真

5月から6月にかけて、令和3年度定通総合体育大会兼全国高等学校定時制通信制の各種部活動の大会が行われています。6日、加須市のフットボールセンターにて、これまで予選を勝ち進んだ本校のサッカー部（埼玉キャンパスと合同チーム）の埼玉県予選の決勝が行われ、本校サッカー部が準優勝しました。おめでとうございます。

決勝戦は、吹上秋桜高等学校との対戦となりました。吹上秋桜は、準々決勝、準決勝とPKを制して勝ち進んできた粘り強いチームでした。本校サッカー部も善戦はしたものの、0対2で惜しくも優勝を逃しましたが、蒸し暑い天候の中、選手は最後まで諦めませんでした。当日は、多くの保護者の方々にも応援いただき、生徒もきっと励みとなったことでしょう。

サッカー部は、7月30日から静岡県清水市で行われる全国大会に出場することが決まり、試合後も次の大会に向け、練習に汗を流しています。今後の活躍に期待したいと思います。

□令和3年度 定通総合体育大会兼全国高等学校定時制通信大会 各種目の結果

- サッカー 準優勝
- 剣道個人 男子2位 武安優里
- 卓球 団体 男子4位 個人男子5位 小平海人
- バスケットボール 男子 1回戦惜敗
- バスケットボール 女子（合同チーム）1回戦惜敗
- バドミントン 2回戦惜敗
- 野球 2回戦 惜敗
- 陸上 6月19日大会予定

関東地方も梅雨入りが発表され、蒸し暑い日が続くようになりました。睡眠不足や朝食を取らずに登校し、体調不良による発熱や熱中症が心配な時季です。早めの睡眠と起床、朝食水分補給を大事にして体調管理をしてください。

□ 3年生進路ガイダンス

5月25日、3年生最後の進路ガイダンスが行われ、生徒は2時間のガイダンスに参加しました。1コマ目は、進学希望者と就職希望者に分かれ、志望理由書、履歴書の書き方の講義を受けました。2コマ目は、各大学・短大、専門学校、就職の分野に分かれ、受験対策講座を受けました。

暑い日でしたが、各講義を眺めてみると、生徒は一生懸命メモを取るなどして、真剣さが伺えました。就職講座では、講義だけでなく、対面での礼儀作法や面接のルールを教わりました。面接は、生徒の皆さんが進学、就職するときに避けては通れない道です。「先生との練習は上手にできたのに、本番では上手に話せなかった。もっと早くから面接練習をしておけばよかった」と話す体験談を、毎年卒業生から聞くこともあります。面接の準備と本番のイメージ作りを大切に練習をたくさんしていくことが大事だと思います。小論文が課せられている学校もありますが、思考力、判断力、表現力が問われています。今からしっかりと対策を練って練習してください。

進路担当と言えることは、高校生活という限りある時間を有効に使ってほしいと思います。大学や専門学校で学びたいと考えている人は、学校探し、保護者や担任との相談から始まります。オープンキャンパスへ参加して学校を直接見たり、説明を聞いたりすることも不可欠です。その後、エントリー、出願、面接、入試本番とやるべきことはたくさんあります。早く自分の進路を決めて、ゆっくりとしたい気持ちから進路活動を焦ることもよくないと思います。自分のこれからの進路を決めていくことは、自分の将来をじっくりと考えることに繋がります。1、2年生も自分自身の将来を考え始めることは決して早くはないと思います。今回お世話になった学校等は以下の通りです。ありがとうございました。

進路担当 赤荻



担当者からの説明



大学とはオンラインで



ガイダンス後

武蔵大学
武蔵野学院大学
武蔵野短期大学
専門学校越生自動車大学校
専門学校東京テクニカルカレッジ
専門学校東京工科自動車大学校
武蔵野栄養専門学校

武蔵野調理師専門学校
東京保育専門学校
早稲田速記医療福祉専門学校
専門学校デジタルアーツ東京
西武学園医学技術専門学校
西武調理師アート専門学校
(株)さんぼう

□生徒総会

5月27日生徒総会が行われました。昨年度から新型コロナウイルス感染症対策として、開催方法が見直され、今年度は全クラス配信での開催となりました。新たな取り組みということもあり、手探りでの準備でしたが、生徒会メンバーは、自分たちが重点目標に掲げた通り、主体的に活動しました。配信の方法を検討するところから、総会当日の段取りまで、自分たちで考え、無事に生徒総会を終えることができました。生徒会顧問の出番がほとんどない生徒総会は初めてで、生徒会メンバー一人ひとりの行動力の高さを改めて感じました。生徒会担当 小峰



□各学年体験学習

コロナ禍の中、塩谷町での宿泊体験学習が中止となり、学園では生徒に別の形でのプログラムを企画しました。2、3年生が体験学習を行いました。3年生の生徒に感想を尋ねてみました。

「ドローンは初めての体験で初めは操作も分からなかったが、講師の方が優しく丁寧に指導してくださり、楽しく体験することができました。自分たちの動かしたいようにプログラミングしましたが、コースの計測から班員と協力して行えました。陶芸も初めてでした。何を作るか、そこから始まりました。私はコーヒーカップと小皿を作りました。どう作ったらいいのか講師の先生からアドバイスを戴き、自分の思い描いた通りの形になりました。今回の体験を通して、グループ活動では協力することの大切さ、難しさ、そして個人の作業では自分の考えを形にするための表現力が必要だということも学ぶことができました。」1年生は6月29日に行いますので、楽しみにしてください。



どのような器ができるか楽しみ

□学校説明会開始

5月29日土曜日、今年度第1回の中学生を対象とした本校学校説明会を行いました。新型コロナウイルス感染症感染防止のため、参加人数の制限や会場を分散するなどの対策をしました。今年も在校生スタッフが積極的に参加してくれました。代表者のスピーチも立派でした。参加者は、説明会に参加して、日々輝学園の様子や生徒の立派な態度に感心されていました。今後も、感染予防対策を徹底しながら学校説明会を実施していきたいと考えています。



第1回学校説明会

□お願い 新型コロナウイルス感染症

37度以上の発熱あったときは、新型コロナウイルス感染防止のために自宅休養とPCR検査の受診をお願いしています。各家庭においては、本人、ご家族の人に係わらず受診のご連絡を学校まで早めにお知らせください。よろしくお願いします。